

◆◆◆ “東日本大震災” に対する宇陀市の対応 【第 3 4 報】 ◆◆◆ (所管：危機管理課)

5 月 2 8 日 宮城県気仙沼市に派遣される行政支援チーム第 5 班（篠田・田中組）が 2 7 日に市長室で市長の激励を受け、2 8 日に被災地に向けて出発しました。派遣の期間は 6 月 3 日までの予定です。

自治労宇陀市職員労働組合は、岩手県宮古市における避難所支援と救援物資輸送支援などのために、自治労奈良県本部からの被災地支援チームの一員として組合員 1 人（泉尾泰嗣氏）を派遣しました。派遣期間は 6 月 5 日までの予定です。

宮城県気仙沼市に派遣されている行政支援チーム第 4 班（吉岡・宮軒組）から報告メールが着信しました。主な内容は次のとおりです。

- ⇒ 島根県浜田市から派遣されているメンバー 4 人が入れ替わったこと。
- ⇒ 徳島県の保健師チームが、一軒一軒を訪問して健康相談をおこなっていること。
- ⇒ 今回の震災に関して、大きな支援の輪が広がっており、自分達も現地でその輪に加わることができたのは貴重な体験であること。
- ⇒ 今後もこのような支援が続くのであれば、1 人でも多くの宇陀市職員が参加できることを期待する。

5 月 3 1 日 宮城県気仙沼市に派遣されている行政支援チーム第 5 班（篠田・田中組）から業務の報告がありました。主な内容は以下のとおりです。ここには添付できませんが、報告には唐桑地区の体育館の中の様子と建設中の仮設住宅の写真が添えられていましたので併せて紹介します。

- ⇒ 2 9 日は台風 2 号崩れの低気圧の影響で風雨が強かったこと。
- ⇒ 市民会館へ届けられた持ち主不明のアルバム等を、それらを一元管理している唐桑地区の体育館に届けた。同体育館には 8 0 0 0 点を越える写真や賞状、位牌などが体育館いっぱい並べられており、災害の大きさを改めて実感したこと。
- ⇒ 唐桑地区では仮設住宅の建設が急ピッチで勧められていること。
- ⇒ 唐桑地区の体育館には、自治労福岡の人員がボランティアとして従事していること。

◆◆◆ 本日のニュース ◆◆◆ (所管：危機管理課)

5 月 3 0 日 奈良県は奈良県臨床心理士会の協力を得て、下記のとおり被災地から奈良県に来られた方を対象に、被災者同士の交流を目的とした『わかちあいの会』を開催します。概要は下記のとおりですが、詳しくは奈良県公式ホームページでご確認下さい。

- ⇒ 日時：6 月 1 8 日（土）1 1 時 0 0 分～1 5 時 0 0 分 ※受付開始 1 0 時 3 0 分
- ⇒ 場所：新公会堂 奈良市春日野町 1 0 1
- ⇒ 対象者：東日本大震災で被災され、被災地から奈良県に来られた方

- ⇒ 参加費無料
- ⇒ 奈良の名産品や各種相談コーナーなど

厚生労働省から県健康福祉部地域福祉課を通じて、「東日本大震災に係る災害援護資金貸付の取扱いについて」と題した通知が着信しました。(所管：市民課)

職員1名の派遣を決定した宮城県多賀城市での建物被害認定調査業務に関して、6月3日に開催される説明会の開催通知と、説明会及び現地での参考図書・準備品リストの通知がありました。

5月31日 県銘木協同組合宇陀支部（葛本卓雄代表）は、会員が宇陀産吉野杉の間伐材で作った杖600本を、宮城県気仙沼市の避難所に送ると新聞報道がありました。掲載紙は本日付の奈良新聞と読売新聞です。  
なお、このニュースは、本日午後6時30分からNHK奈良放送の『ならナビ』という番組でも放映される予定です。

#### ◆◆◆ 定時降下物や上水における放射性物質について ◆◆◆ (所管：危機管理課)

5月20日 県は、4月1日から1ヶ月間に採取した降下物（1ヶ月間の累積）から、下記のとおり放射性物質が検出され、本県ではセシウム134とセシウム137は過去3年間検出されていないことから、福島第一原子力発電所事故の影響ではないかと考えられると報道発表しました。

ただし、検出された放射線量はごく微量で、この降下物から1年間に受ける放射線量は0.124マイクロシーベルト/年に相当し、自然界から1年間に受ける放射線量（2400マイクロシーベルト/年）の1万分の1以下に相当する極めて低い値であり、健康に影響はない。ということです。

⇒ 試料の採取期間と採取場所：平成23年4月1日～平成23年5月2日 奈良市（県保健環境研究センター）

⇒ 放射性物質：ヨウ素131 10.3メガベクレル/㎥

セシウム134 4.7メガベクレル/㎥

セシウム137 4.5メガベクレル/㎥ ※セシウムは、大阪府検出値（4月採取分）の約半分の値

なお、県景観・環境局環境政策課では、今回の福島第一原子力発電所事故に伴い、文部科学省からの委託を受けて環境放射能調査を強化し、定時降下物と上水（蛇口水）の測定を毎日おこなった結果を県のホームページで公表しています。これまでの毎日の測定では、定時降下物及び上水（蛇口水）から放射性物質は検出されず。また空間放射線量率についても通常の値（平成19～21年の奈良県の平常値：0.046～0.08マイクロシーベルト毎時）で推移しているということです。

#### ◆◆◆ 宇陀市の義援金報告 ◆◆◆ (所管：厚生保護課)

総額 20,346,082 円（個人：19,385,223 円、義援金箱：960,859 円）

※平成 23 年 5 月 27 日現在

ご支援・ご協力、ありがとうございます。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の民間物資の受入状況について ◆◆◆ （所管：危機管理課）

- ⇒ 提供申出累計：902 件
- ⇒ 被災地との調整済み累計：195 件

平成 23 年 5 月 10 日現在

※県の救援物資の受け入れは、4 月 11 日から一時停止しています。

◆◆◆ 東北地方太平洋沖地震にかかる奈良県の住宅提供状況について ◆◆◆ （所管：危機管理課）

奈良県の東北地方太平洋沖地震にかかる住宅提供状況は下記のとおり。

- ⇒ 県営住宅：入居可能予定戸数 100 戸                      内) 入居決定 18 戸（入居人数：59 人）
- ⇒ 市町村営住宅：64 戸（21 市町村）                      内) 入居決定 4 戸（入居人数：12 人）
- ⇒ 公的 (UR) 賃貸住宅：入居可能予定数 80 戸                      内) 入居決定 3 戸（入居人数：6 人）
- ⇒ 公的（雇用促進）住宅：入居可能予定数 68 戸                      内) 入居決定 1 戸（入居人数：4 人）

平成 23 年 5 月 23 日 16:00 現在

※過去に記載が漏れていたものも掲載しています。また、配信後に情報が入ったものについては翌日以降の掲載になります。併せてご了承下さい。